



ホームラン

ニュース

発行: 船橋市野球協会少年学童部

責任者: 理事長 河崎 六郎

編集: 広報部

<http://www.funabashi-gakudou-baseball.jp/>

藤上ディアーズ初優勝 江藤省三杯争奪 第39回船橋市少年学童野球新人大会

9月17日に開会した「第39回船橋市少年学童野球新人大会」は、約2ヶ月間の大会期間を経た11月20日、船橋市運動公園野球場にて、激戦を勝ち抜いた習志野台ワンパクズと藤上ディアーズとの間で決勝戦が行われました。

船橋市少年学童野球新人大会決勝戦は、習志野台ワンパクズ先発の勅使瓦くん、藤上ディアーズ先発の渡辺くんの好投でテンポ良く進み、むかえた3回の裏、藤上ディアーズはこの回先頭の高橋くんが相手のエラーで出塁、1アウト後、9番熊谷くんのセンター前ヒットで1、3塁、1番永井くんは内野ゴロに打ち取られたものの、2番田中くんがデッドボールで出塁して、2アウト満塁と先制のチャンスとなります。ここで3番北島くんが、レフト前にしぶとく打ち返して1点を先制、その後も相手の守備の乱れについて一挙に3点を追加し、4対0と試合を優位に進めます。

点差を詰めたい習志野台ワンパクズは5回表、相手ピッチャの乱れについて1アウト満塁としますが、決定打が出ず得点は1点に止まります。

その裏タイムリーツーベースで1点を追加した藤上ディアーズは、6回にも1点を加え、6対1で昨年度優勝の習志野台ワンパクズを退け、船橋市少年学童野球新人大会初優勝の栄誉に輝きました。

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
ワンパクズ	0	0	0	0	1	0	0	1
ディアーズ	0	0	4	0	1	1	X	6

「日々の練習のおかげ」

藤上ディアーズ 浅水 大和

ぼくたちは、毎日の練習をつみ重ねたから優勝できた。試合の時は、みんながすかさず声をだし、はげましたりなど色々考えて行動し、ひとりひとりが目標を決め、ひとりひとりがその目標を達せいでいるようにすることが大事だと思う。優勝できたのは、たすけあったりしたからだと思う。自分達がいま何をすればいいか、考えてやるのが大事。「練習の時も声を出し、指示をし、目の前のボールから、目をはなさないこと」ときびしく言われていました。きびしい練習もしたからこそ、いい試合になったと思います。決勝にふさわしい試合になり、打って、走って、守って、声をだしたからこそ勝利への道が開けたと思う。「野球は一人でやるものじゃないみんなでやる物なんだ」と教えてくれました。「試合に出ない人は、指示を出し、出ている人は、やりきる」これを大事にしていきたい。ぼく達は、いつでも、選手全員で野球をしていきたいと思っています。



西船ウイングス逆転で2回目の優勝 第41回船橋市秋季市民大会少年学童の部

11月20日、気温20度と11月とは思えない天候の中、「第41回船橋市秋季市民大会少年学童の部」の決勝戦が、船橋市運動公園野球場にて行われました。

各支部の予選を勝ち抜いた8チームで争われる秋季大会は、金杉台・緑台連合と西船ウイングスの間で決勝戦が行われました。

1、2回は、両チームとも3者凡退と緊迫した試合展開の中、迎えた3回表2アウト後、金杉台・緑台連合は、9番小澤くん、1番吉岡くんの連続ヒットで1点を先制します。

しかし4回の裏、ファーボールとヒットで2アウト1、2塁とこの試合初めてのチャンスをむかえた西船ウイングスは、4番渡井くんのピッチャー強襲打で1点を返し同点、試合を振り出しに戻しました。

そして6回の裏の西船ウイングスの攻撃、3番黒須くんが内野安打で出塁し、2アウト2塁と逆転のチャンスで5番渡井くんの打球はレフトへのタイムリーツーベースとなり逆転に成功したあと、何とか追いつきたい金杉台・緑台連合の7回表の攻撃を、2番手投手の黒須くんが3人で抑え、西船ウイングスがシーズンの最後の大会を優勝で飾りました。

「優勝！」

西船ウイング 竹尾 強志

11月20日、僕たちにとって最後の学童の大会、秋季大会の決勝戦がありました。Aチームになり、なかなか優勝出来ず悔しい思いをしてきましたが、最後の大会でやっと「優勝」を掴みとりました。とても嬉しくて、僕は優勝の瞬間涙が出てきました。しかもこの日はなんと、僕たちの監督の誕生日。最高のプレゼントになったと思います。この優勝で、今までご指導頂いた監督・コーチにご恩返しが出来てよかったです。



学童部OB オール船橋「全国優勝」

川田 一憲

八月三日から行われた第一六回U-15全国KW B野球選手権大会において、船橋市中学校野球選抜チーム「オール船橋」が9年ぶりに本県代表として出場しました。

大会は静岡県伊豆市で行われ、予選リーグを一位で通過し、準決勝は石川県代表ハードボールクラブ金沢Jr. に5-0で勝ち、決勝は兵庫県代表の報徳学園中クラブを3-1で下し、悲願の全国優勝を果たしました。

主将の宮島拓郎(坪井中)が、はつらつとしたプレーでチームを鼓舞し、エースの川和田悠太(二宮中)は最優秀選手に選ばれる冷静なピッチングを見せ、4番の大竹隼平(習志野台中)は、勝負強い打撃で勝利に貢献しました。

チームとして徹底してきたのは、「役割分担」でした。自チームでは中心選手で、いつも試合に出ている選手たちですが、試合に出る出ないに関わらず、全員がひたむきに自分の役割に徹することこだわってきました。また、誰がいつ試合に出ても、力を発揮できるような雰囲気、緊張感がありました。

チームワークがよく、帰りのバスの中では、全員で合唱曲を熱唱するなど、達成感にあふれ、無邪気な表情を見せる選手達が印象的でした。

選抜チームの活動が船橋市中学野球の活性化につながり、卒業後、高校野球の舞台で再会し、切磋琢磨してくれることを願っています。

西海ドラゴンズ(A) 初優勝

第24回船橋市少年学童野球低学年大会

8月28日、「第24回船橋市少年学童野球低学年大会」決勝戦が行われ、学童スポーツの多様化で所属選手の減少に悩むチームが増えるなか、大会に2チームを送り出した西海ドラゴンズ(A)が海神スパローズを退け、低学年大会初優勝の栄冠に輝きました。

決勝戦は、西海ドラゴンズ(A)と海神スパローズの対戦となりました。1回の表の海神スパローズの攻撃は、2アウトの後、ファーボールと盗塁の菅原くんを2塁に置き、4番松川くんのあたりはセンターオーバーのタイムリースリーベースヒットとなり1点を先制、その後バッテリーエラーで更に1点を加え、初回到2点を奪いました。

その裏の西海ドラゴンズ(A)の攻撃も、先頭の青沼くんがファーボールで出塁し、反撃を開始します。2番、3番は倒れ2アウトとなりますが、4番坂坂くんのあたりがレフトへのタイムリーヒットとなり1点を返します。さらに相手のエラーにも助けられて1点を追加し、試合を振り出しに戻します。

2回以降、西海ドラゴンズ(A)のピッチャー今井くんの好投で得点できない海神スパローズに対して、2回、3回到1点づつを追加した西海ドラゴンズ(A)が4対2とリードを広げます。

ピッチャーが変わった4回の海神スパローズは、5番樋口くんのセンター前ヒットなどでランナーを3塁まで進めますが、西海ドラゴンズ(A)の攻守にも阻まれ得点する事ができません。その裏、西海ドラゴンズ(A)は、3番小倉くんのホームランなどで一挙5点を追加します。

なんとか反撃したい海神スパローズは5回表、センター前ヒットで出塁した8番小堀くんを3塁まで進めますが得点できず、9対2で西海ドラゴンズ(A)が低学年大会を制しました。

チーム	1	2	3	4	5	計
スパローズ	2	0	0	0	0	2
ドラゴンズ	2	1	1	5	x	9

「力を合わせて」

西海ドラゴンズ 野田 陽生



僕達は昨年、船橋市内の大会で三かんと達成し、今年は低学年大会の優勝に向けて冬は手ゴロ、走塁などの基礎練習、春からはゲームノック、紅白戦などの練習を監督、コーチから教わり、時にはきびしくて、出来ない自分が情けなく泣いてしまうことがあります。

低学年大会は初戦からきびしい戦いの連続でしたが、ピンチの時にこそお互いに声をかけ合い、仲間を信じて四試合を勝ち抜いて優勝しました。



今年も20名の精鋭が集結

船橋学童部選抜チーム

平成28年度締め括る「第15回千葉県少年野球地域対抗6年生選抜大会」が11月26日、27日の2日間にわたり開催されました。船橋市野球協会少年学童部では、所属チームから船橋を代表するに相応しい選手20名の選考を行い、船橋地域選抜チームとして、大会に参加しました。



1回戦の北総地域選抜に対しては、初戦の緊張感もなく終始ゲームを支配する展開で相手を圧倒し、8対0の完封で2回戦にコマを進めました。

2回戦は前の試合で、安房地域選抜を12対1の大差で破った柏地域選抜との一戦でした。当初の予想通り緊迫した試合展開となり、善戦はしたものの1対0で敗れ、惜しくも入賞をのがしてしまいました。

精一杯戦った選手達、お疲れさまでした。

大会成績

船橋市少年学童野球 選手権大会

- 優勝 ホワイトビーストロング
- 準優勝 習志野台赤トンボ
- 第三位 金杉台・緑台連合 FTJ

船橋市少年学童野球 低学年大会

- 優勝 西海ドラゴンズ(A)
- 準優勝 海神スパローズ
- 第三位 ノアレイアーズ 薬田台リトルスター

船橋市少年学童野球 新人大会

- 優勝 藤上ディアーズ
- 準優勝 習志野台ワンパクス
- 第三位 習志野台赤トンボ 薬田台リトルスター

船橋市秋季市民大会 少年学童の部

- 優勝 西船ウイングス
- 準優勝 金杉台・緑台連合
- 第三位 法典コンドル 西海ドラゴンズ

千葉県少年野球大会(千葉日報杯)

- 優勝 FTJ
- 準優勝 習志野台ワンパクス
- 出場 宮本ビーバース

千葉県少年野球低学年(ロッテ旗)大会

- 優勝 西海ドラゴンズ
- 準優勝 海神スパローズ
- 出場 薬田台リトルスター

関東学童軟式野球秋季千葉県大会 (日ハム旗)

- 出場 船橋三山スパローズ

少年野球千葉県選手権大会

(ろうきん旗争奪戦)

- 出場 ホワイトビーストロング
- 出場 習志野台赤トンボ
- 出場 FTJ

五市親善少年野球大会

- 優勝 船橋A(第1支部)
- 準優勝 船橋B(第2支部)

東葛親善少年野球秋季大会

- 出場 金杉台・緑台連合

千葉県少年野球秋季女子大会

- 出場 船橋女子選抜

千葉県少年野球地域対抗

6年生選抜大会

- 出場 船橋地域選抜

ホワイトビーストロング 20年ぶり3回目の優勝

第41回船橋市少年学童野球選手権大会

8月28日、夏休み最後の日曜日は台風の接近で雲が多く雨も心配される天気でしたが、「第41回船橋市少年学童野球選手権大会」の決勝戦が行われ、20年ぶりの優勝を目指すホワイトビーストロングと勝てば初優勝となる習志野台赤トンボの間で熱戦が繰り広げられました。

試合序盤、両チームともランナーは出すものの硬い守備に阻まれ、3回を終了して0対0の同点、むかえた4回の表、ホワイトビーストロングの攻撃は、ライト前ヒットで出塁した3番斎藤くんが盗塁と内野ゴロで3塁まで進み、5番宇田川くんのセンターフライでタッチアップに成功、1点を先制します。

その裏の赤とんぼの攻撃を3者凡退に抑えたホワイトビーストロングは、続く5回の表、ファールボールで出塁した8番中野くんを2つの送りバントで3塁に進めると、先制のホームを踏んだ3番斎藤くんのライト前タイムリーヒットで1点を追加、リードを2点と広げます。

5回の裏も3人で抑えたホワイトビーストロングは、6回表、先頭の5番宇田川くんのファールボールの後、バントと盗塁でノーアウト2、3塁と追加点のチャンスでしたが、ファーストへの小フライが3-5-4のトリプルプレーとなり追加点を奪えません。

なんとか反撃したい赤トンボは、6回裏、2つのファールボールで2、3塁とするもののあと一本が出ず、2対0でホワイトビーストロングが、船橋市少年学童野球選手権大会の優勝を勝ち取りました。

チーム	1	2	3	4	5	6	7	計
ホワイト	0	0	0	1	1	0	0	2
赤トンボ	0	0	0	0	0	0	0	0



ホワイトビーストロング 中野 樹

春季大会敗戦後、「一つ一つの勝利」を目標に向かって練習を積み重ねてきました。

夏季大会は気の抜けない試合ばかりでしたが、チーム全員の「勝つ」という強い思いがあったからこそ優勝できたと思います。

先取点を取られてしまった試合でも、必ず勝てるとチーム全員の気持ちが勝利に結びついたのでと思います。

夏季大会は、僕たちを成長させてくれ最高の経験ができた大会です。

お父さん・お母さん、チームみんなの支えが大きな力になりました。

本当にありがとうございました。



平成28年度 頑張った選手を表彰

船橋市野球協会少年学童部 優秀選手表彰式

11月23日に行われた、船橋市野球協会少年学童部 優秀選手表彰式で、今シーズン活躍した選手30名が優秀選手として表彰され、船橋市野球協会少年学童部 河崎六郎 理事長より表彰状と記念のメダルが贈られました。



習志野台ワンパックス	古 屋 克 樹	金杉台・緑台連合	吉 開 鉄 郎
ホワイトビーストロング	竹 葉 洋 太	FTJ	西 村 匠 翔
習志野台赤トンボ	後 藤 兼 志 郎	西船ウイングス	黒 須 堅 心
二和タイガース	石 黒 慎 之 助	法典コンドル	岡 山 直 暉
ツインドルフィンズ	村 山 翔 太	西海ドラゴンズ	山 下 博 将
前原エイトマン	広 瀬 陸	金杉台・緑台連合	石 島 光 騎
習志野サンデーズ	鈴 木 颯 太	海神スパローズ	日 下 卓 海
小室ライオンズ	大 谷 謙 弥	FTJ	久 保 田 義 人
習志野台ワンパックス	菊 池 柇 吾	宮本ビーバース	亀 田 省 吾
ホワイトビーストロング	宇 田 川 慶 悟	小栗原ベアーズ	鶴 木 健 成
スリーアローズ	小 泉 優 太	西船ウイングス	渡 井 悠 真
ノアレイアーズ	赤 井 橙 路	法典コンドル	古 河 瑞 樹
夏見台アタックス	高 松 新	西海ドラゴンズ	中 村 元 哉
宮本ビーバース	阿 保 快 人	金杉台・緑台連合	寺 尾 駿 祐
FTJ	片 山 健 太	小栗原ベアーズ	坂 本 芯

船橋市少年学童部 大暴れ

千葉日報旗・ロッテ旗・五市親善

船橋市春季市民大会少年学童の部Aリーグの上位3チームが出場した、第46回千葉県少年野球大会(千葉日報旗大会)は、8月7日から5日間の日程で行われました。春季市民大会3位のFTJと準優勝の習志野台ワンパックスは、順調に勝ち上がり、準決勝戦でミヤコリトルベアーズ(千葉)、富里Rエンゼルス(印旛)に競り勝ち、決勝戦に進みました。2年ぶりに船橋同士の戦いとなった決勝戦は、5対1でFTJ が勝ち、初優勝で春季市民大会の雪辱を果たしました。

千葉県少年野球低学年大会(ロッテ旗)では、船橋市少年学童野球低学年大会で決勝戦を戦った西海ドラゴンズと海神スパローズが、再び優勝を争う事になりました。試合は終始優位に進めた西海ドラゴンズが11対1で海神スパローズを破り、昨年の三山スワローズに続き、2年連続で船橋に栄冠をもたらしました。

この他、各支部から選抜された選手が出場する五市親善野球大会でも船橋勢同士の決勝戦となり、第1支部から選抜されたAチームが第2支部選抜のBチームを退け優勝するなど、船橋の強さを示す大会となりました。

～ 編集後記 ～

プロ野球は、日本ハムファイターズが広島東洋カープを退け日本一に!

「神ってる」より強いチームの中心にいるのが大谷選手、彼を見て野球に興味を持ってくれる少年が増えるといいですね。(広報部)